

令和 2 (2020)年度

事業計画書

自 ; 令和 2 (2020)年 3 月 1 日

至 ; 令和 3 (2021)年 2 月 28 日

公益財団法人

日本高等学校野球連盟

1. 高等学校野球の普及、振興、指導及び監督

- (1) 年度内に評議員会を1回、理事会を5回それぞれ開催予定。また毎月定例として、業務運営委員会を開催（12月は除く）予定。
- (2) 年度内に各種委員会（総務、財務、選手権大会運営、選抜大会運営、軟式部、佐伯記念国際交流基金、医科学、技術・振興、プロアマ健全化、特待生問題研究、連盟70年史編修、高校野球200年構想推進）を必要に応じて開催し、諸問題の検討を行う。また、審議委員会を開催し（全体委員会を年5回、小委員会を週1回）、不祥事件に対する指導を行い、事件発生防止の重点目標を5項目（指導者の暴力（体罰）行為の根絶、部員の暴力・いじめ行為の絶滅、インターネットを利用した誹謗中傷・迷惑行為の防止、部活動引退後の3年生部員への指導の徹底、アウトオブシーズン中の指導の徹底）挙げて、指導徹底を行う。さらに審判規則委員会を年2回開催し、重点指導事項（フェアプレイとスピードアップ）を挙げて、文書を配布して徹底を図る。
- (3) 年度内に都道府県連盟会長会議を1回、同理事長会議を2回それぞれ開催し、加盟団体との連絡、諸問題の伝達を行う。
- (4) 各種表彰（日本学生野球協会優秀選手表彰、育成功労賞表彰）を行う。
- (5) 3年目の実施となる「高校野球200年構想」事業を都道府県高校野球連盟と協力しながら、野球の普及・振興のためにさらに展開していく。

2. 高等学校野球大会その他の試合の開催及び協力

(1) 第92回選抜高等学校野球大会

令和2年3月19日（木）から13日間（休養日2日含む）、阪神甲子園球場において開催する。出場校数は32校。組み合わせ抽選会は令和2年3月13日（金）に毎日新聞大阪本社オーバルホールで行う。

(2) 第102回全国高等学校野球選手権大会

令和2年8月10日（月）から16日間（休養日2日含む）、阪神甲子園球場において開催する。代表校数は49校（北海道は南北、東京は東西各2校）。組み合わせ抽選会は令和2年8月7日（金）にフェスティバルホールで行う。

(3) 第65回全国高等学校軟式野球選手権大会

令和2年8月26日（木）から6日間（休養日1日含む）、兵庫県・明石トーカロ球場とウインク球場（姫路球場）を併用して開催する。代表校数は16校。組み合わせ抽選会（代理抽選）は令和2年8月16日（日）に阪神甲子園球場で行う。

(4) 第75回国民体育大会・高等学校野球競技会

鹿児島県下で開催。高等学校野球競技は、例年通り大会の前半日程の中で後半の開催となる。

- ・硬式の部…令和2年10月4日(日)から4日間

平和リース球場(鹿児島市)

- ・軟式の部…令和2年10月4日(日)から4日間

出水市総合運動公園野球場(出水市)

(5) 第51回明治神宮野球大会・高等学校の部

令和2年11月20日(金)から6日間(高校の部は準決勝翌日休養日)。日本学生野球協会、明治神宮外苑の共催で開催される。高校の部の出場校は例年通り10校で、秋季地区大会優勝校10校が出場する。

(6) 春季地区大会

各都道府県連盟の協力により、全国9地区(北海道、東北・秋田、関東・山梨、北信越・長野、東海・岐阜、近畿・京都、中国・岡山、四国・香川、九州・大分)で令和2年4月下旬から6月中旬にかけて開催予定。

(7) 秋季地区大会

各都道府県連盟の協力により、全国10地区(北海道、東北・宮城、関東・千葉、東京、北信越・富山、東海・三重、近畿・京都、中国・島根、四国・高知、九州・長崎)で令和2年10月上旬から11月上旬にかけて開催予定。

3. 高等学校野球に関する調査及び研究

- (1) 5月末現在の硬式、軟式両加盟校数ならびに部員数の調査を実施する。

4. 高等学校野球選手、部員等のスポーツ障害予防及び健康増進

- (1) 選抜大会並びに選手権大会参加の投手全員に大会前に肩、肘の関節機能検査を実施、スポーツ障害予防の啓蒙に努める。
- (2) 高校野球における障害予防の現状をふまえ、成長期の高校球児にとってより適切な活動指針の提言を要請した「投手の障害予防に関する有識者会議」から示された答申に対し、今年度から1週間で1人の投手が試合で投球できる投球数を500球以内とする。これは令和2年度から3年間を試行期間とする。

5. 高等学校野球に関する講習会・研修会の開催

(1) 新任理事長研修会

令和2年度新たに就任した都道府県連盟理事長を対象に令和2年5月25日(月)、26日(火)の2日間開催予定。

(2) 審判講習会

①第60回全国審判講習会

令和2年4月25日(土)、26日(日)の2日間、阪神甲子園球場ならびに

兵庫県立総合体育館で開催予定。各都道府県連盟から参加した受講者を対象にルール研修や実技指導を行う。

② 地区別審判講習会

北海道をはじめ全国9地区の地区別審判講習会に講師を派遣する。

(3) 指導者研修会

都道府県連盟主催の加盟校指導者研修会に講師を派遣予定。

(4) 指導者育成プログラム「高校野球・甲子園塾」

高校野球のよき指導者となるために、教員資格を取得し現在教員として在籍10年未満の指導者を対象に令和2年11月ならび12月の計2回開催予定。

(5) プロ野球現役選手によるシンポジウム「夢の向こうに」

日本野球機構、日本プロ野球選手会の協力を得て、福岡県で開催予定。

6. 高等学校野球を通じた国際交流及び国際相互理解の推進

(1) 第13回BFA U18 アジア野球選手権大会

令和2年9月上旬、台湾・高雄で開催予定の第13回BFA U18 アジア野球選手権大会に高校日本代表チームを編成して参加する。参加チームは8カ国・地域の予定。

7. 高等学校野球に関する関係諸団体との協力及び提携

- (1) 日本野球協議会、全日本野球協会、日本野球連盟、全日本軟式野球連盟をはじめ全国高等学校定時制通信制軟式野球連盟、全国高等学校体育連盟、日本中学校体育連盟のほか少年野球団体とも密接に連絡、会合などを随時開催して相互の発展と振興を図る。

8. 就学前児童、小学生、中学生に対する野球の普及、振興

小学校、中学校野球選手、部員等のスポーツ障害予防及び健康増進

小学校、中学校野球に関する関係諸団体との協力及び提携

(1) 高校野球200年構想関連事業

普及、振興、けが予防、育成、基盤作りをテーマに、高校生だけでなく就学前児童、小学生、中学生まで対象を拡げて、各種事業を行う。

3年目となる令和2年度は都道府県高校野球連盟を中心に200近くの事業が全国で展開される予定。